

DVRImageSlicerの使い方

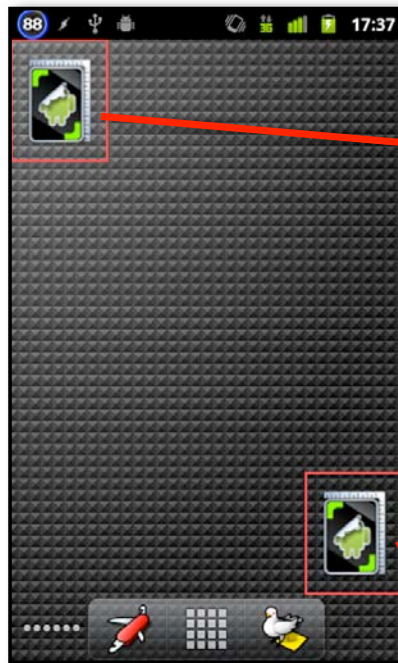


Bii

2011 株式会社ビー

はじめに

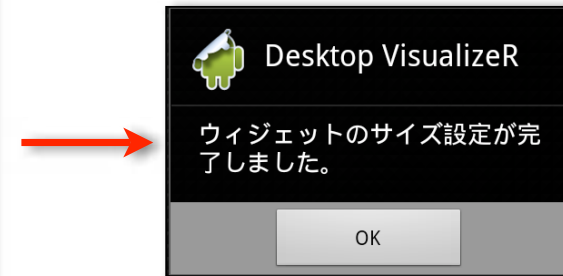
Android端末は画面のサイズ、ホーム(ランチャー)アプリが特定されないため、ウィジェットのサイズも利用端末・ランチャーにより異なります。この違いを吸収するために使用環境でのウィジェットのサイズを計測する必要があります。まず、別途DVRSizeConfigToolというアプリを使用してこのウィジェットのサイズを測定します。



DVRSizeConfigToolのウィジェットをホームスクリーンの左上と右下に配置し、タップします。



ウィジェットの配置位置とホームスクリーンのグリッドサイズを設定してOKボタンをタップします。左上と右下の両方の設定完了時に計測内容がDesktop VisualizeRに送信されます。



使用中のホーム上で隙間なくウィジェットを配置できる場合には上のような表示がされます。

スクリーンサイズ画像の準備

次にDVRImageSlicerがウィジェットとして使用するための元画像(スクリーンサイズ画像)を作成します。
DVRImageSlicerはこの画像を切抜いたものをウィジェットに設定します。



DesktopVisualizerを起動して、メニューから「その他」→「アドオンコマンド」→「Screen Size Crop」を選択します。

ファイルを選択するアプリを選び、対象となるファイルを選択してください。

選択した画像ファイルを切抜いてスクリーンサイズ画像を作成します。

完成した状態

ウィジェットの設定

Desktop VisualizeRウィジェットをひとつのスクリーン全体に配置し、DVRImageSlicerアドオンで設定を行います。



DesktopVisualizeRウィジェットを画面全体に設置します。設置したウィジェットをタップしてDesktopVisualizeRを起動してください。

アイコン選択ボタンをタップし、「アドオン」を選択し、次に「DVRImageSlicer」を選択してください。

「画像を選択」ボタンをタップし、「スクリーンサイズ画像」を選択して先ほど作成したスクリーンサイズ画像を選択します。

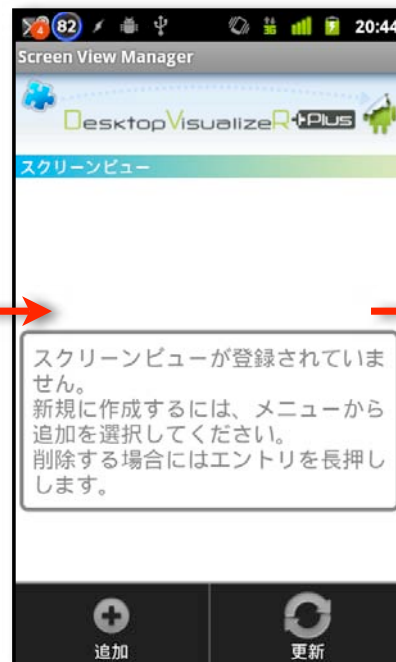
ウィジェットの位置とサイズに合わせてスクリーンサイズ画像が切抜かれます。同じ手順で全てのウィジェットの設定を行ってください。

スクリーンビュー(1)

DVRImageSlicerでは画像を選択する際に、「スクリーンサイズ画像」の他に「スクリーンビュー」を選択する事が可能です。スクリーンビューとは、スクリーンサイズ画像を参照するエイリアスで、スクリーン内の全てのウィジェットの元画像を一度に変更することが可能となります。



DesktopVisualizerを起動して、メニューから「その他」→「アドオンコマンド」→「Screen View Manager」を選択します。



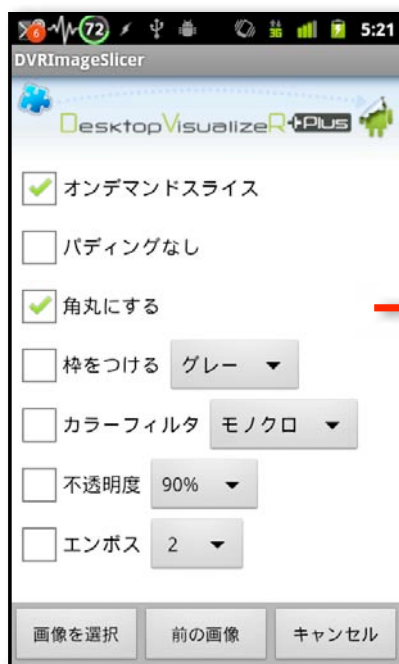
メニューから「追加」選択してスクリーンビューを作成します。



作成したスクリーンビューが参照するスクリーンサイズ画像を選択して「OK」ボタンをタップします。

スクリーンビュー(2)

作成したスクリーンビューを使用するには、DVRImageSlicerで「画像を選択」ボタンをタップした際に表示されるリストで「スクリーンビュー」を選択します。



ウィジェット設定画面にて「オンデマンドスライス」オプションをオンにして、「画像を選択」ボタンをタップします。



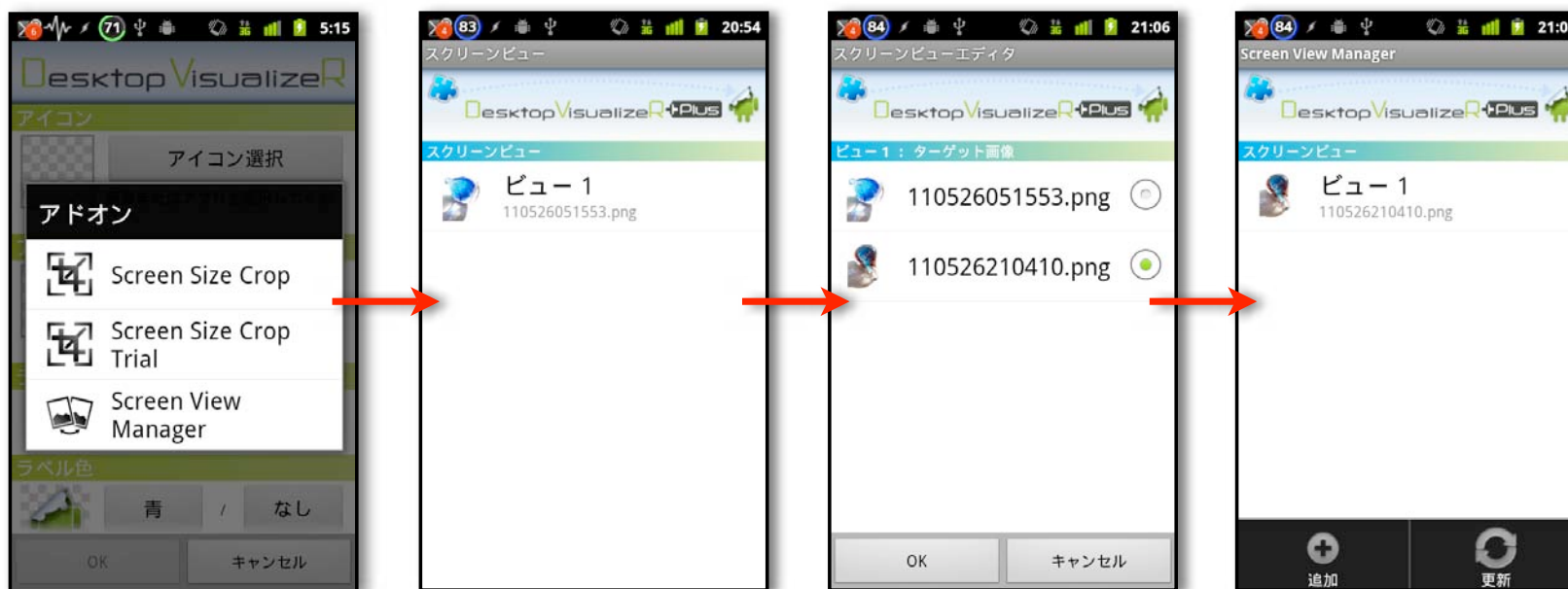
「スクリーンビュー」を選択します。



使用するスクリーンビューをリストから選択します。

スクリーンビュー(3)

スクリーンビューの対象画像を変更することで、複数のウィジェットの表示内容を一括で変更することが可能です。対象画像を変更は、「Screen View Manager」にて行います。変更後、手動でウィジェットの更新(再表示)を行う必要があります。



DesktopVisualizerを起動して、メニューから「その他」→「アドオンコマンド」→「Screen View Manager」を選択します。

変更するスクリーンビューをリストから選択します。

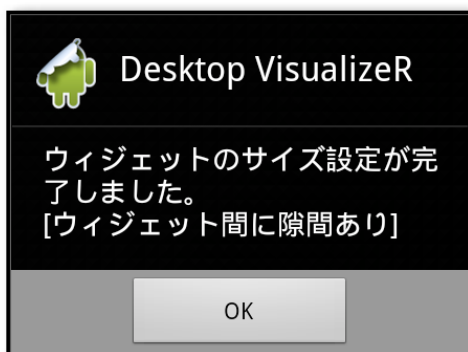
スクリーンビューの対象画像をリストから選択して「OK」ボタンをタップします。

メニューから「更新」を選択して現在表示されているウィジェットを再表示します。

注意事項

DVRImageSlicer は全てのAndroid端末で使用できるわけではありません。正しくウィジェットの表示が行われるには以下の条件を満たすホームアプリを使用していることが必要です。

1. 隙間なくウィジェットを配置することが可能なホームアプリであること(ホームアプリのスクリーンのレイアウトに各アイテム間のギャップがないこと)。
2. ホーム画面が縦または横のレイアウトで固定されていること(通常、タブレットやキーボード付でないこと)。



上記1の条件を満たしていない場合にはDVRSizeConfigToolの設定時にこれらのメッセージが表示されます。